

洪水ハザードマップ

Mapa de Risco de Inundação
Mapa de Perigo de Inundación
Flood Hazard Map

豊川流域

Bacia do Rio Toyokawa
Topo do Rio Toyokawa
Région du Bassin
Toyokawa Basin

わが家の防災メモ

台風や豪雨時に慌てずに避難するためには、日頃から周囲の災害リスクを把握し、いつ、どのような避難行動を取るか、事前に考えておくことが大切です。ハザードマップを使って、わが家の防災メモを完成させよう！地図を確認して、該当するところをチェックを記入しましょう。

自然の災害リスク

浸水深	0～0.3m未満	0.3～0.5m未満	0.5～1.0m未満	1.0m以上
家屋倒壊等危険想定区域	河川沿いの想定区域内	河川侵食の想定区域内	家屋倒壊等危険想定区域外	

避難の方法
このハザードマップを参考にし、避難の方法を確認しましょう。

屋内待機又は垂直避難
 屋内待機 垂直避難

立退き避難先
 自宅の避難所 知り人・親戚の家 さん宅

避難場所
自宅から避難場所までの距離を測定して確認しましょう。

避難場所
自宅から避難場所までの時間

[メモ] 非常時の持ち出し品などについて、記入しておきましょう。

●家族が離ればなれになった時の集合場所や連絡方法(災害伝言ダイヤルや各種SNSなど)

●家族の連絡先

家族の名前	連絡先(学校や勤務先など)	電話番号

令和5年5月発行 豊橋市建設部河川課 〒440-8501 愛知県豊橋市今橋町1番地豊橋市役所第5階
電話番号: 0532-51-2335 Email: kansen@city.toyohashi.lg.jp

非常時に必要なもの

- 非常時持ち出し品チェックリスト
- 貴重品
 現金(小銭) 印章 預金通帳 健康保険証 運転免許証 権利証書
 マインナーカード 本人・家族の写真(最新のものを)
- 食料品・水
 家族3日分の食料及び飲料水
- 医療・衛生用品
 救急薬品 常備薬 処方箋のコピー お薬手帳 衛生用品(歯ブラシ等) 生理用品
 ティッシュ ウェットティッシュ 除菌アルコール 体温計 マスク
- 避難用品
 ヘルメット・防災ずきん 運動靴 ホイッスル(呼び笛)
- 道具箱
 携帯電話・モバイルバッテリー及び充電器 ラジオ兼ライト(予備電池) 筆記用具(油性ペン含む)
 作業用手袋(革手袋) ナイフ 缶切り マッチ ライター
- 衣類
 上着(防寒着) 下着類 タオル 雨具(レインコート)
- 生活用品
 毛布・寝袋・寝具セット 使い捨てコンタクトレンズもしくはコンタクトレンズ洗浄液 予備メガネ スリッパ
- 家族に合わせた準備をしましょう

▼高齢者がいる家族 ▼乳幼児がいる家族 ▼妊婦がいる家族

<input type="checkbox"/> 食料品類(ゼリードリンクなど)	<input type="checkbox"/> ミルク・哺乳瓶・離乳食等	<input type="checkbox"/> 胎産簿
<input type="checkbox"/> おむつ・紙(パンツ等)	<input type="checkbox"/> おむつ・おしり拭き	<input type="checkbox"/> ガーゼ
<input type="checkbox"/> 薬品の予備(杖など)	<input type="checkbox"/> ベビーシート	<input type="checkbox"/> 新生児用品
<input type="checkbox"/> 持病の薬	<input type="checkbox"/> おんぶひも・おもちゃ	<input type="checkbox"/> 消毒用アルコール
<input type="checkbox"/> 口腔ケア用品・入れ歯洗浄剤	<input type="checkbox"/> ガーゼ・さらし	<input type="checkbox"/> 母子健康手帳
<input type="checkbox"/> 身近な人の連絡先	<input type="checkbox"/> 食品アレルギーリスト	<input type="checkbox"/> 清潔なタオル等
<input type="checkbox"/> 自身の身元を記入したもの	<input type="checkbox"/> 母子健康手帳・子ども医療費受給済証	<input type="checkbox"/> マタニティマーク

非常時持ち出し品は最小限にして、リュックタイプにまとめるように。避難のときに両手も自由に使えるようにすることが大切です。

ローリングストック(循環備蓄)は、食料・飲料水などを保存期間が切れる前に消費し、新たに補充して、常に一定量のストックを確保する食生活です。定期的な買い置きで消費することで、無駄を出さず、いつでも常に備蓄が保たれることを防ぎます。

各施設電話番号

災害伝言ダイヤル「171」の利用

地震等の災害発生時に、被災地の方言の発音や通話が増加し、被災地の通話がつながりにくい状況になった場合に、NTTが提供するサービスです。

災害発生直後に利用

171 伝言ダイヤル(災害伝言ダイヤル)

伝言の録音方法

録音の場合 1

再生の場合 2

録音 100秒以内

再生

毎月1日、15日、毎月最終日(毎月1回)の10時～12時、15日(毎月1回)の10時～12時、15日(毎月1回)の10時～12時に通話可能です。

洪水ハザードマップとは

洪水ハザードマップの役割

洪水ハザードマップとは、大雨によって河川が増水・氾濫した場合の浸水範囲と浸水深さ及び各地区の避難場所を示したものです。この洪水ハザードマップを利用して、あなたが住んでいる地区がどれくらい浸水するのか、そのときにどこへ避難するべきなのかを把握しておきましょう。また、自宅の近くがけ崩れや大雨によって災害の発生が予想される場所がある人は、自主的に早めの避難を心がけましょう。

また、洪水により大きな災害の発生が予想される場合は、市からも避難情報などが出されますので、速やかに避難しましょう。

●豊橋市の主な過去の水害被害記録

1959年 伊勢湾台風
伊勢湾台風は愛知県を中心に猛威をふるい、5,089人の尊い人命が失われました。豊橋市でも堤防決壊による洪水、暴風による家屋倒壊など甚大な被害をもたらしました。

2008年 平成20年8月末豪雨
平成20年8月末豪雨は、三河地方を中心に局地的な大雨をもたらしました。豊橋市では、28日の中から29日にかけて、総雨量233.5ミリを観測しました。卯生川や内瀬川が氾濫し、193ヶ所の道路が浸水したと大きな被害を受けました。

豊橋市の被害概要
死者・・・130人
家屋倒壊・・・157戸
床上浸水・・・288戸
床上浸水・・・126戸
床上浸水・・・214戸



豊橋市の主な過去の水害被害記録

1959年 伊勢湾台風

2008年 平成20年8月末豪雨

豊橋市の被害概要

死者・・・130人
家屋倒壊・・・157戸
床上浸水・・・288戸
床上浸水・・・126戸
床上浸水・・・214戸

情報を入手しよう

防災・災害情報を調べる (PULL型)

1 豊橋市 SNS・ホームページ

●豊橋市ホームページ(防災・災害情報)
https://www.city.toyohashi.lg.jp/660/rhm
洪水・土砂災害等各種ハザードマップが確認できます。
●豊橋市防災・安全・安心情報ウェブサイト
https://twitter.com/city.toyohashi

2 スマートフォンアプリ

●防災アプリ「Hazardon(ハザードン)」
https://www.city.toyohashi.lg.jp/4508.htm
●Yahoo!防災速報
https://emg.yahoo.co.jp/

3 官公庁による配信情報

●気象庁 気象庁の警報、雨量情報等 別14対応メニュー 雨による防災情報を確認できます。
https://www.jma.go.jp/jma/

●国土交通省河川の防災情報 豊橋市河川の水位や雨量の防災情報を確認できます。
https://www.river.go.jp/index

●愛知県河川の防災情報 県内河川が対象となる最新の防災情報を確認できます。
https://www.kasen-aichi.jp/

●愛知県防災Web 県内河川が対象となる最新の防災情報を確認できます。
https://www.pref.aichi.jp/

防災・災害情報を受け取る (PUSH型)

1 メール配信

●豊橋ほっとメール
「toyohashi-mssn」と、右記の2次元コードから「ほっとメール」を送り登録することで、無料で防災・避難情報の緊急メールが受信できます。
●防災・生活情報を受け取る。
●避難情報を受け取る。

2 テレビ・ラジオ

●ラジオ放送のFM84.3MHz
●テレビ
データ放送での確認方法
●テレビのメニューボタンを押す。
●「防災・生活情報」を選択する。

3 同報系防災行政無線

市内63カ所にある防災行政無線より、災害・気象情報をお知らせします。

4 広報車

市内の広報車や消防車によるマイク放送をします。

避難のタイミングを知らう

大雨・洪水に関する注意報・警報

大雨・洪水注意報

大雨・洪水警報

大雨特別警報

警戒レベルの確認

災害発生のおそれが高まった場合、市や気象庁などから様々な情報が発表されます。これらの情報に注意し、段階に合わせた適切な行動を取りましょう。

警戒レベル	市民のみ注意が必要となるべき行動	警戒レベル相当情報	避難情報等
警戒レベル5 (最高)	既に災害が発生又はおそれている状況です。命を守るために、直ちに安全な場所まで避難してください。	洪水発生情報(気象庁発表) 大雨特別警報(気象庁発表)	緊急安全確保(豊橋市が発令)
警戒レベル4	速やかに危険な場所から避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内の安全な場所へ避難しましょう。	洪水危険情報(気象庁発表)	避難指示(豊橋市が発令)
警戒レベル3	避難に困難をきたす(高齢者、障がい者、乳幼児を連れて行く方)などの支障者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	洪水警戒情報(気象庁発表) 大雨特別警報(気象庁発表)	高齢者等避難(豊橋市が発令)
警戒レベル2	避難に侵入ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	大雨・洪水注意報など(気象庁発表)	
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報(気象庁発表)	

※可能な範囲で発表されるものであり、必ずしも発令されるものではないことに注意して下さい。

●キキル(危険度分布)

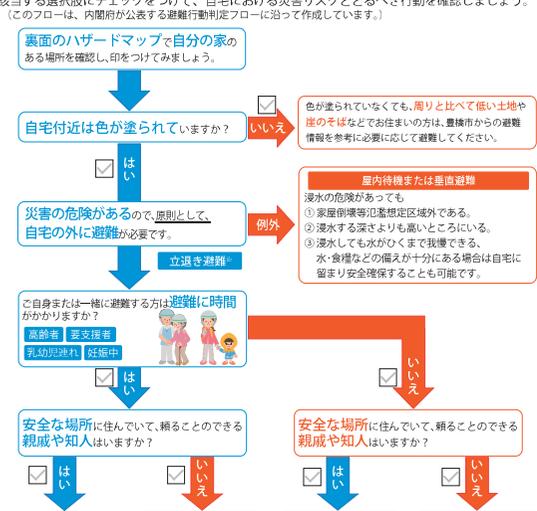
「キキル」は大雨や洪水による災害の危険が、どこで、どのレベルで起きているかを、地図上で視覚的に知ることができる情報で、気象庁のホームページで公開されています。

洪水キキル(大雨警報(洪水)の危険度分布)

洪水キキル(洪水警報)の危険度分布

避難行動判定フロー

台風や大雨のような風水害はあらかじめ接近を予測できる水害です。避難行動判定フローに従い、該当する選択肢にチェックをつけて、自宅における災害リスクととるべき行動を確認しましょう。(このフローは、内閣府が公表する避難行動判定フローに沿って作成しています。)



警戒レベル3 高齢者等避難

が発表されたら、安全な場所へ避難しましょう。

警戒レベル3 高齢者等避難

が発表されたら、市が開設した避難所に避難しましょう。

警戒レベル4 避難指示

が発表されたら、安全な親戚・知人宅などに避難しましょう。

警戒レベル4 避難指示

が発表されたら、市が開設した避難所に避難しましょう。

※家屋倒壊等危険想定区域や床上浸水が浸水するおそれがある場合は、事前に立退き避難が必要であり、状況に応じて市の発令を待つことなく避難して下さい。

避難で注意することを知ろう

立退き避難の心得

いざというときのために、日ごろから避難に必要なものを整理し、家族で避難の手順について話し合っておきましょう。また、災害の危険性が想定された場合には、情報を入手して、早めの避難を心がけましょう。

●すばやく避難をしましょう

避難情報などが発表されていなくても、雨の状況などから判断し、自主的に安全な場所に避難をしましょう。避難の際はブレーカーを落し、火の元を確認しましょう。

●車での避難は控えましょう

水深30cmを超えると、多くの車はエンジンが停止するおそれがあるため、車での避難は控えましょう。

●水がひきよまて来たら歩きにくくなります

歩くことのできる水深は50cm程度が限界です。道路が浸水する前に避難するようにしましょう。

●子どもやお年寄りや安全に避難しにくい方

小さな子どもやお年寄りの避難に協力しましょう。子どもについてはロープで大人と大きくとも有効です。

●集団で避難をしましょう

単独での行動は避け、近所の人たちと手を掛け合い、集団で安全な場所に避難しましょう。

●外出中の家族には連絡確認をしましょう

避難時に外出中の家族には、「〇〇」に避難する、といったようなメモを残すようにしましょう。

●足元に注意をしましょう

長い棒や木材を杖代わりにして、側面に足を踏かずに歩きましょう。なるべく道路の真ん中を歩きましょう。

●危険なところは避けましょう

狭い道、がけや川・水路のそばは避けましょう。電線が垂れ下がっているところも危険です。

浸水が継続する期間を知る

浸水継続時間を表示した図では、洪水により浸水深0.5m以上が継続する時間を表しています。浸水継続時間が長くなるおそれのある地域にお住まいの方は、6ページの避難行動判定フローに従って、事前に避難を行っていきましょう。

避難するときは動きやすい服装を心がけよう

ヘルメットや防災頭巾などで頭を保護する

非難持ち出し品は両手でリュックに入れて背負う

足元を確認する
足の傘や杖

けがを防ぐために
長袖と長ズボン

履き慣れた運動靴
長靴は水が入ると動けなくなるため×

●どこで確認できるの?

浸水継続時間を表示した図については、下記の2次元コードもしくはURLよりご確認ください。

豊川・豊川放水路

豊川下流支川

●浸水継続時間が長い地域で立退き避難を行なわなければならないときは?

浸水の長期化を想定して避難する地域で、立退き避難をせず自宅の2階等に避難した場合は、次のような問題点が起こります。浸水継続時間が長い地域の住民の方は、適切な避難行動をしましょう。

外部との連絡が断絶

- 生活環境が悪化する
- 水や食料などの供給がなくなる
- 雨人が出た場合に対応が難しい
- 定期的な診療を受けられない など

電気、ガス、水道が止まる

- 生活環境が悪化する
- 停電などにより、情報を得られなくなる など

孤立した場合

- 体調が悪化した場合の対応が困難である
- 情報を得られず不安になる など

危険箇所を事前に確認しよう

堤防や盛土の近く

堤防の近くや道路などの盛土に囲まれた地域は、排水能力が低く水が溜まりやすくなっています。豪雨時には近づかないようにすることが大切です。自宅や学校、勤務先など、事前に確認しておきましょう。

土砂災害の恐れがある場所

大雨が降ると地盤の崩れ、がけ崩れや土石流等の土砂災害が発生する恐れがあります。大雨時には近づかないようにするとともに、自宅や土砂災害警戒区域等の付近にある場合は、早めの避難を心がけましょう。

地下空間

地下空間は、浸水が始まると水圧の影響でドアが開けられなくなり、地上から流れてくる雨水が原因で、脱出が困難になります。事前に地上へ避難するようにしましょう。

地下道(アンダーパス)

大雨・洪水などにより、地下道(アンダーパス)は真っ先に浸水します。地域の地下道の場所を把握し、もしものときに備えて上り道を倒れにしておきましょう。